

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

| | |
|-----------------------------------|--|
| 試料・情報の 利用目的及び 利用方法 | 研究の名称 人工股関節置換術におけるステムアライメントが術後のステム周囲の皮質骨の形態変化に及ぼす影響 |
| | 研究の対象 2017年1月～2020年1月に当院で人工股関節置換術を受けられた方 120名 |
| | 研究の目的 変形性股関節症で股関節痛に悩む患者さんに対して股関節を人工物に置き換える手術（人工股関節置換術）をすると、早期に痛みが改善し、その耐用年数も30年以上となっていて、患者さんの生活の質の向上に大きく貢献できるようになりました。しかし、長期的にみると、大腿骨という骨の中に入れるステムという金属は、その周囲の大腿骨の骨を弱くしてしまうことがあり、それがステム周囲の骨折の原因になったりします。また逆に骨が過剰に反応して骨の形態に変化が生じると大腿部の痛みの原因になったりすることが報告されています。これは使用するステムのデザインや、ステムを挿入する角度が影響している可能性があり、これまで単純X線撮影や骨密度測定によってこの手術後のステム周囲の骨がどのように変化するのが報告されています。しかし骨の形態を3次元的に解析した報告はみられず、ステムのデザインや挿入する角度と、長期的な骨の形態の変化の関係がより詳細に明らかになる可能性があります。そこで私たちは人工股関節置換術を施行した患者さんの術前と術後のCTのデータから、特殊な骨の解析ソフトを用いて骨の形態解析を行い、ステムデザインや挿入角度と術後の皮質骨の形態変化の関連を調査することを目的としました。 |
| 研究の期間 | |

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

| | |
|--|--|
| | <p>研究機関の長による実施許可日から 2023 年 12 月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p> |
| <p>利用し、又は提供 する試料・情報の項目</p> | <p>研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、身長、体重、使用ステム、カルテ番号 CT データ 等</p> |
| <p>利用する者の 範囲</p> | <p>機関名および責任者名 浜松医科大学 星野裕信</p> |
| <p>試料・情報の 管理について 責任を有する 者の氏名又は 名称</p> | <p>浜松医科大学 整形外科学講座 星野裕信</p> |
| <p>試料・情報の 利用又は他の 研究機関への 提供の停止(受 付方法含む)</p> | <p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p> |
| <p>資料の入手 または閲覧</p> | <p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p> |
| <p>情報の開示</p> | <p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> |

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

| | |
|---------------|--|
| | また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。 |
| 問い合わせ先 | 〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 整形外科学講座 担当者： 星野裕信 TEL： 053-435-2299 E-mail： hhoshi@hama-med.ac.jp |